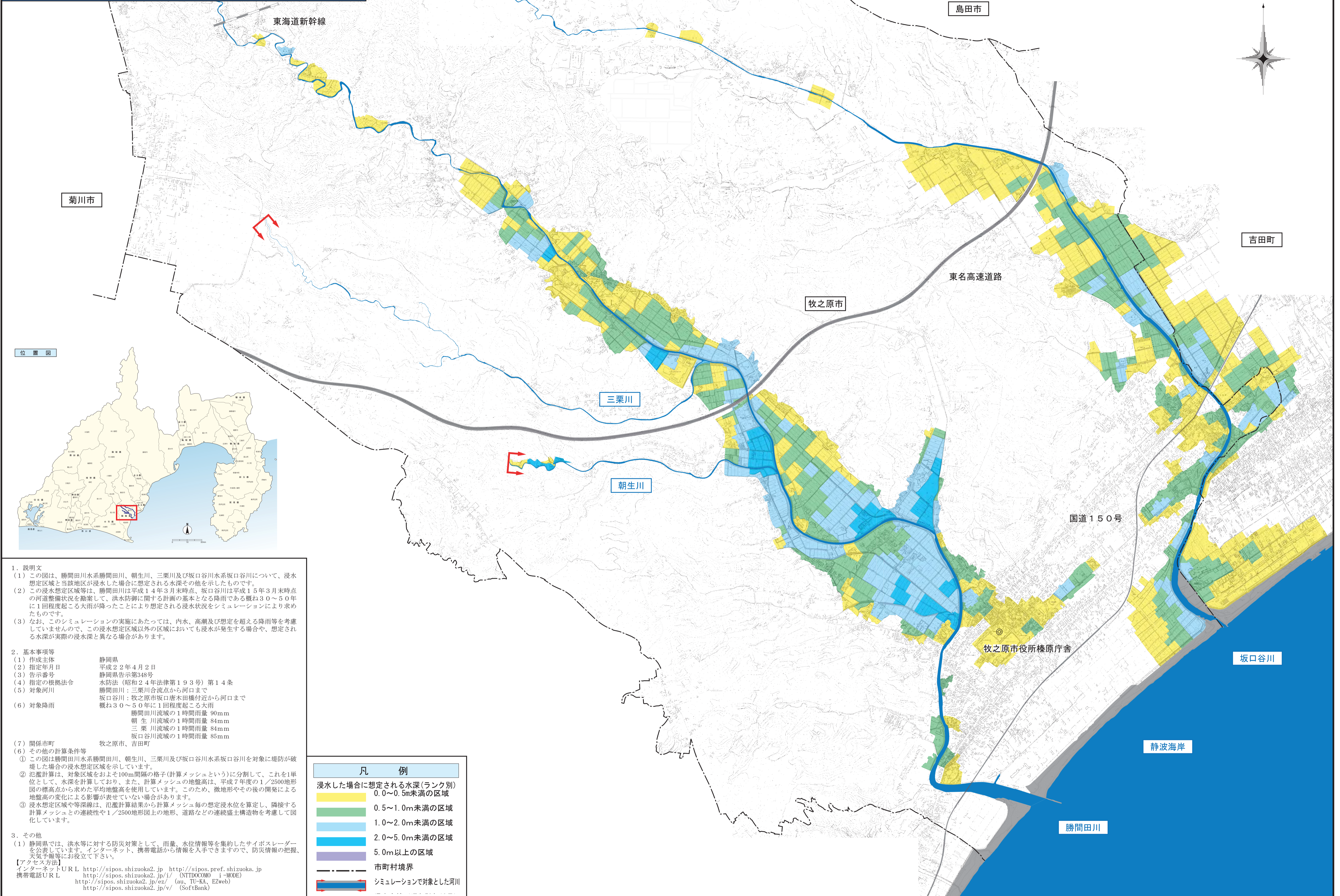
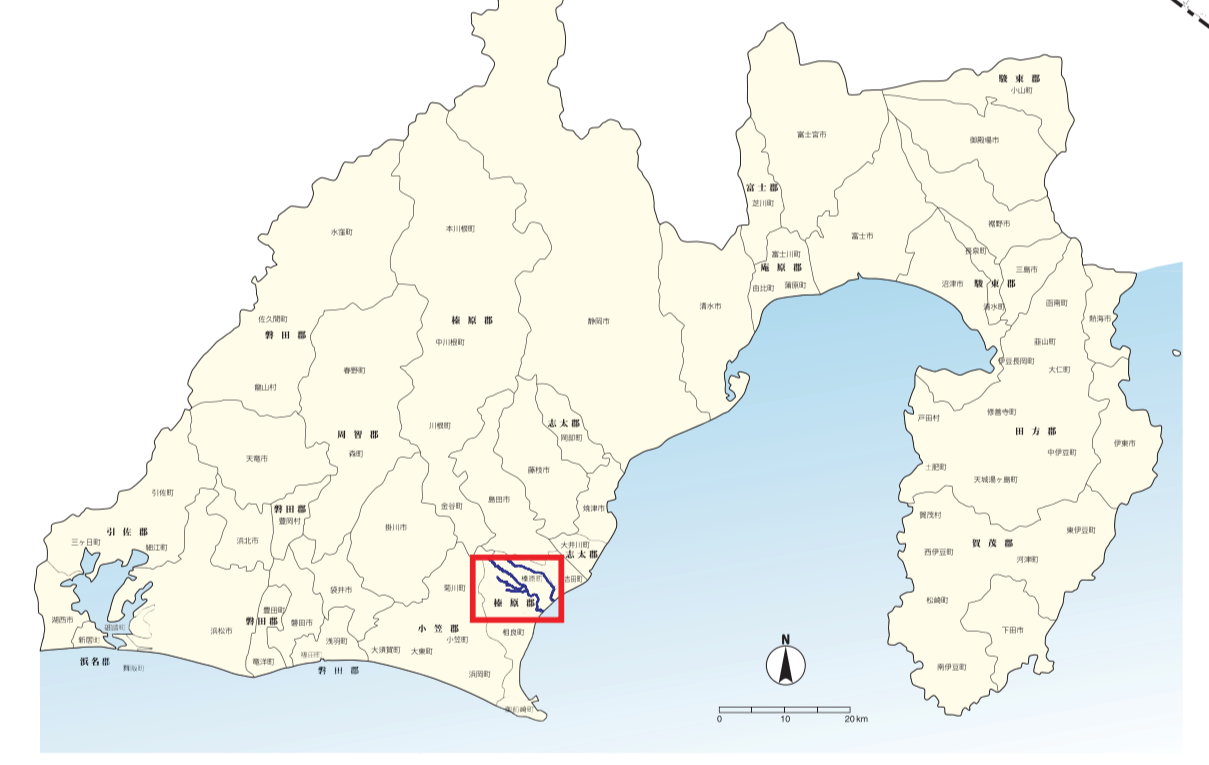


勝間田川水系勝間田川・坂口谷川水系坂口谷川 浸水想定区域図（牧之原市、吉田町）



位置図



1. 説明文
 (1) この図は、勝間田川水系勝間田川、朝生川、三栗川及び坂口谷川水系坂口谷川について、浸水想定区域と当該地区が浸水した場合に想定される水深その他を示したものです。
 (2) この浸水想定区域等は、勝間田川は平成14年3月末時点、坂口谷川は平成15年3月末時点の河道整備状況を勘案して、洪水防衛に関する計画の基本となる降雨である概ね30～50年に1回程度起こる大雨が降ったことにより想定される浸水状況をシミュレーションにより求めたものです。
 (3) なお、このシミュレーションの実施にあたっては、内水、高潮及び想定を超える降雨等を考慮していませんので、この浸水想定区域以外の区域においても浸水が発生する場合や、想定される水深が実際の浸水深と異なる場合があります。

2. 基本事項等
 (1) 作成主体 静岡県
 (2) 指定年月日 平成22年4月2日
 (3) 告示番号 静岡県告示第348号
 (4) 指定の根拠法令 水防法（昭和24年法律第193号）第14条
 (5) 対象河川 勝間田川：三栗川合流点から河口まで
 坂口谷川：牧之原市坂口唐木田橋付近から河口まで
 (6) 対象降雨 概ね30～50年に1回程度起こる大雨
 勝間田川流域の1時間雨量 90mm
 朝生川流域の1時間雨量 84mm
 三栗川流域の1時間雨量 84mm
 坂口谷川流域の1時間雨量 85mm
 (7) 関係市町 牧之原市、吉田町
 (6) その他の計算条件等
 ① この図は勝間田川水系勝間田川、朝生川、三栗川及び坂口谷川水系坂口谷川を対象に堤防が破壊した場合の浸水想定区域を示しています。
 ② 氾濫計算は、対象区域をおよそ100m間隔の格子（計算メッシュという）に分割して、これを1単位として、水深を計算しており、また、計算メッシュの地盤高は、平成7年度の1/2500地形図の標高点から求めた平均地盤高を使用しています。このため、微地形やその後の開発による地盤高の変化による影響が表せていない場合があります。
 ③ 浸水想定区域や等深線は、氾濫計算結果から計算メッシュ毎の想定浸水水位を算定し、隣接する計算メッシュとの連続性や1/2500地形図上の地形、道路などの連続盛土構造物を考慮して図化しています。

3. その他
 (1) 静岡県では、洪水等に対する防災対策として、雨量、水位情報等を集約したサイボスレーダーを公表しています。インターネット、携帯電話から情報を入手できますので、防災情報の把握、天気予報等にお役立て下さい。
 【アクセス方法】
 インターネットURL <http://sipos.shizuoka2.jp> <http://sipos.pref.shizuoka.jp>
 携帯電話URL <http://sipos.shizuoka2.jp/i/> (NTTDOCOMO i-MODE)
<http://sipos.shizuoka2.jp/ez/> (au、TI-KA、EZweb)
<http://sipos.shizuoka2.jp/v/> (SoftBank)

凡 例	
浸水した場合に想定される水深(ランク別)	
0.0～0.5m未満の区域	黄色
0.5～1.0m未満の区域	緑
1.0～2.0m未満の区域	水色
2.0～5.0m未満の区域	濃水色
5.0m以上の区域	紫
市町村境界	黒点線
シミュレーションで対象とした河川	赤線